

# かもう公民館 図書室だより

平成25年度 11月号  
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

## 11月(霜月 しもつき)

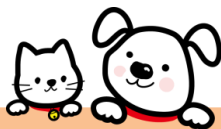
木の葉が色付いて秋も深まり、  
「霜月」という名に相応しい季節になりました。秋の夜長に、ゆったりと本を読んで過ごしてみませんか？



### 読書週間のお知らせ



10月27日から11月9日は、読書週間となっています。期間中、蒲生公民館図書室では、特設コーナーにて今年の標語である『本と旅する 本を旅する』をテーマとした図書の展示を行っております。実際行けないような場所にも、想像するだけで旅立てるのが本の魅力のひとつ。この秋は本を読んで、自由に世界を巡りましょう！



### 新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

「働かないの」  
群ようこ 著



48歳、貯金生活者のキョウコの生活は、月10万円の綱渡り。ささやかな幸せを求める女性を描く、書き下ろし小説。

「図解 ふしぎで意外な神道」  
岡田明憲 著



日本固有の宗教とされる神道。「宗教」の一言では語りきれない、数々の謎を秘めるふしぎな存在である神道の正体に迫る、新しい神道入門書。

「あしあと動物園」  
小宮輝之 著



上野動物園の園長だった小宮輝之氏による動物のあしあと図鑑。動物園でのエピソードも交え、足跡から生態の謎と秘密を解き明かす1冊。

#### 一般書

- 「大きな字ですぐわかる はじめてのパソコン」 尾崎裕子
- 「尾木ママ、どうして勉強しなきゃいけないの？」 尾木直樹
- 「教場」 長岡弘樹
- 「正義をふりかざす君へ」 真保裕一

#### 児童書

- 「からすのやおやさん」 かこさとし
- 「からすのおかしやさん」 かこさとし
- 「宇宙探検えほん」 宇宙航空研究開発機構
- 「おひさん」 たかべせいいち

※その他、多数あたらしい本が入っています。

### おすすめの本



11月17日(日)、蒲生では「大楠どんと秋まつり」が開催されます。平成6年(1994年)から始まった「大楠どんと秋まつり」。蒲生八幡神社では、和太鼓の演奏の他、韓国の伝統舞踊が披露され、毎年盛況を博しています。古くから蒲生と交流のある韓国ですが、実はよく知らないという方も多いのでは？ 蒲生公民館図書室には、韓国に関する本が多数入っています。近年様々な問題が横たわる両国間。相互理解を深めるためにも、ぜひこの機会にごらんください。



「まっふるマガジン 韓国」「いちばんやさしい韓国料理」「韓流スターと学ぶ！ハングル集中講座」「韓国語日常会話辞典」「韓国のごはん」「韓国まるごと大百科」 などなど！